

沖縄総合事務局 開発建設部 建設コンサルタント業務審査委員会
議事概要

開催日及び場所		平成22年4月26日(月) 沖縄総合事務局 4階 事業審査室	
委 員		委員長 原 久夫 (琉球大学工学部環境建設工学科 准教授) 委 員 渡嘉敷 直彦 (琉球大学工学部環境建設工学科 講師) 委 員 下里 哲弘 (琉球大学工学部環境建設工学科)	
対象案件		総件数 4 件	(備考)
建設コンサルタント業務	一般競争入札(総合評価落札方式)	1 件	
	公募型プロポーザル方式	件	
	簡易公募型プロポーザル方式	件	
	簡易公募型に準じたプロポーザル方式	3 件	
	標準プロポーザル方式	件	
	公募型総合評価落札方式	件	
	簡易公募型総合評価落札方式	件	
	簡易公募型に準じた総合評価落札方式	件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等		意 見 ・ 質 問	回 答
		別紙のとおり	別紙のとおり
委員による審議結果の内容		上記について、発注方式、評価基準、評価結果等の説明を行い、原案通り了承された。	

(別紙)

意見・質問	回答
<p>○事案の審議について</p> <p>1. 簡易公募型に準じたプロポーザル方式</p> <p>1) 平成22年度竹富南航路整備・効果検討調査</p> <p>○ 参加表明者が少数であったのは、業務内容について、過年度調査との関連が具体的に記載されておらず、参加表明者への情報提供が不足しているためと考えられる。</p> <p>2) 平成22年度竹富南航路施工検討調査</p> <p>○ 参加表明者が1社のみとなっているが考えられる理由はあるか。</p> <p>○ 参加表明者が1社のみであったのは、業務内容について、過年度調査との関連が具体的に記載されておらず、参加表明者への情報提供が不足しているためと考えられる。</p> <p>3) 平成22年度竹富南航路船舶航行安全検討調査</p> <p>○ 参加表明者が1社のみとなっているが考えられる理由はあるか。</p> <p>○ 参加表明者が1社のみであったのは、業務内容について、過年度調査との関連が具体的に記載されておらず、参加表明者への情報提供が不足しているためと考えられる。</p> <p>2. 一般競争入札(総合評価落札方式)</p> <p>1) 平成22年度水中部施工状況確認業務</p> <p>○ 参加表明者が1社のみとなっているが考えられる理由はあるか。</p> <p>○ 参加表明者を増やす工夫が必要である。</p> <p>3. その他</p> <p>○ 業務説明書を入手した社数を説明に加えて欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、過年度からの継続性がある場合は、過年度業務と当該業務の関係が解る記載を行う。 通常の航路における施工計画の検討に比べ、世界的にも有数なサンゴ礁海域で環境保全に配慮し、各種船舶の往来が輻輳し、周辺海域で漁業、観光利用の多種多様な海域利用に配慮した施工計画を作成する必要があることから検討内容がかなり高度であるためと推測される。 今後は、過年度からの継続性がある場合は、過年度業務と当該業務の関係が解る記載を行う。 通常の各種船舶が往来する海域における航行安全対策の策定に比べ、周辺海域で漁業、観光利用の多種多様な海域利用に配慮して周辺海域を含めた海域利用上の安全確保のためのルールを踏まえ、世界的にも有数なサンゴ礁海域で環境保全に配慮した航行安全対策を策定する必要があることから検討内容がかなり高度であるためと推測される。 今後は、過年度からの継続性がある場合は、過年度業務と当該業務の関係が解る記載を行う。 同業務を受注した場合、中立・公平性の観点から、当局が発注する他の港湾工事へ従事できなくなることが要因と推測される。 今後の検討 了解